

大田区自立支援協議会 防災・あんしん部会議事録

文責：事務局

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第2回 防災・あんしん部会				
(2) 開催日時	令和5年7月12日(水) 13:30 ~ 15:45				
(3) 開催場所	新井宿特別出張所 3階会議室				
(4) 出席した 委員、事務局等	委 員 (部会長：志村 陽子)				＜敬称略＞
	山内 京子	石塚 由江	福田 美和	宇田尻 浩司	一色 ふみ子
	粟田 修平	生駒 友一	小池 美津代	窪田 千亜紀	西條 由美子
	北畠 拓也	蛭子 明子			
	オブザーバー：高木 仁根				
事務局：森合 美穂、秋山 仁志、檜山 咲紀、江川 奈保美、堀内 蘭					

1 連絡・確認事項

(1) 司会・書記の確認

(2) 出欠者・配布資料の確認

欠席者 名川委員、近藤委員、栈敷委員

2 前回の専門部会の振り返りと運営会議の報告

・第1回専門部会の議事録の確認

・第2回運営会議の報告

専門部会のみ委員の推薦について、20名を目安に各部会で適正人数を判断する。

全体交流会は、令和5年10月2日(月)午前中に障がい者総合サポートセンター5階多目的室にて開催予定。

各専門部会から、令和5・6年度のテーマの報告を行った。

その他共有事項として、東京都自立支援協議会の共有、目黒区自立支援協議会より、志村防災・あんしん部会長、伊藤地域生活部会長に講師依頼が来ている。大田区の取り組みについて講義を行う予定。

3 各関係機関からの情報提供

大田区社会福祉協議会 高木 仁根氏より情報提供

・災害ボランティアセンターについて

センターの活動方針として、地域への災害ボランティア活動の啓発、災害ボランティア登録者(個人・団体)の増加、災害ボランティアセンター運営者の強化が挙げられる。

・大田区、地域パートナーシップ支援センター、社会福祉協議会の三者協定による共同運営を行っている。

・近年、自然災害が頻発し甚大な被害がもたらされており、誰もが被災者になる可能性がある。被災した後の生活再建をどう進めるか知る必要がある。

・高齢者のみの世帯や、単身世帯、地域との接点が少ない若い世帯も増えており、被災した自宅の復旧作業を単独で行うことは困難である。災害ボランティアは、サポートが必要な世帯に対し、生活再建をいち早く進める役割を担う。

- ・令和4年度の災害ボランティアセンター事業として、『災害ボランティア初めて講座』、『災害ボランティアセンター体験会』、『災害ボランティア育成講習』を開催した。令和5年度は『関東大震災100年フォーラム』、『災害ボランティア育成講座（初心者向け）』、『災害ボランティアセンター本部立ち上げ訓練』を予定している。
- ・品川区で、防災まち歩きを行った際、大田区社会福祉協議会も参加した。なかなか障がいのある方の参加が少ない状況だった。

<講義を聞いたうえでの質疑応答>

- ・ボランティアのマッチングが非常に大切だと思っている。被害状況はどのように把握しているのか。
→行政と連携しながら情報収集している。
- ・大規模災害時は、ボランティア協力が広域になると思うが、どのように協力要請をしているのか。
→災害ボランティアセンターのネットワークがあり、必要に応じて要請がある。地域パートナーシップ支援センターは、ボランティアを経験した人が集まっており、経験や知見を継承するため、連携している。
- ・北島委員より、以前行ったさぽーとぴあ周辺の防災まち歩きの報告。障がいによって、不自由に感じる部分が違い、共有しながら歩いた。
- ・以前、社会福祉協議会でまち歩きを行った際、障がいのある方の参加が少なかったという話があったが、どのようにイベントを周知したのか知りたい。
→品川区で開催した際、ホームページやSNSなどで発信していた。高木氏が以前自立支援協議会に参加していたことから、大田区にも情報提供をした。

4 議題

令和5・6年度専門部会の取り組みについて

<各委員より意見>

- ・地区の防災訓練への参加、部会としてブース出展ができればよいと思う。
- ・あんしんカフェの企画・実施
- ・小中学生への理解啓発や、特別出張所単位での防災訓練があれば参加したい。
- ・障がい者総合サポートセンターの福祉避難所開設訓練を区民の方と行ったことがあった。新型コロナウイルスの影響で開催できていなかったが、再開してもよいと思う。
- ・まち歩きを部会委員だけではなく、一般の区民の方とも一緒にできればよいのではないかな。
- ・まち歩きやカフェに区民の方が興味を持ってもらえる周知の方法を考えていきたい。
- ・特別支援学校の防災訓練への参加。
- ・個別避難計画に絡めて、積極的に防災に取り組んでいる町会から話を聞いてみたい。また、取り組み方に悩んでいる自治会へ部会から発信していけたらよいと思う。
- ・あんしんカフェの経験を地域での活動に活かしている。
- ・ヘルプカードの見直しや理解啓発。
- ・防災訓練に参加して、障がいや出来ること出来ないことを知ってもらうことが大切だと思う。
- ・同じ障がいでも障がいの程度や感じ方、伝え方などが違う。お互いに理解しあったり、発信しあうことが重要である。
- ・各所属で、今回の話を伝えていただき、意見やアイデアがあれば部会の時に伝えてほしい。

- ・年間スケジュールの確定

基本的に、第1水曜日の午後1時30分から開催予定。

5 委員及び各関係機関からの情報提供

(1) 情報提供

- ・第73回 社会を明るくする運動 地区集会 映画上映会&トークライブ
日時：7月20日（木）19時～21時 会場：大田文化の森
- ・ぼうさいこくたい2023
令和5年9月17日（日）、18日（月・祝） 会場：横浜国立大学

(2) 事務局からの事務連絡

- ・東京都自立支援協議会交流会のご案内
人数制限があるため、本会委員へ案内する。
- ・委員の連絡先の収集について

(3) ご意見カード記入

※次回の日程

専門部会：令和5年8月2日（水）13時30分～15時30分 さぼーとぴあA棟5階多目的室